

平泉多言語解説文整備業務

業務仕様書

令和 7 年 4 月

岩 手 県

この「業務仕様書」（以下「仕様書」という。）は、岩手県（以下「県」という。）が実施する「平泉多言語解説文整備業務」（以下「本業務」という。）に係る委託候補者の選定に関し、県が契約する事業者（以下「受託者」という。）に要求する本業務の概要や仕様等を明らかにし、企画提案に参加しようとする者（以下「参加者」という。）の提案に具体的な指針を示すものである。

1 業務名称

平泉多言語解説文整備業務

2 本業務の目的

外国人来訪者にも平泉の文化遺産等の価値が分かりやすく伝わるよう、遺跡の現地及び「平泉の文化遺産WEBサイト」において必要な多言語解説文を作成する

3 委託期間

契約締結の日から令和8年2月13日(金)まで

4 予算額

3,462千円以内（税込）

5 本業務の内容

本業務の内容は、次のとおり。

(1) 平泉に関する多言語解説文の制作

「別紙」の内容を踏まえ、次により多言語解説文を制作すること。

なお、多言語解説文の制作にあたっては、「How to 多言語解説文整備（観光庁ガイドライン）」及び「地域観光資源の英語解説文作成のためのライティング・スタイルマニュアル（観光庁）」に準拠すること。

ア 対象

柳之御所遺跡現地解説板及び「平泉の文化遺産WEBサイト」に掲載する多言語解説文

イ 対応言語

英語、繁体字、簡体字及びタイ語

ウ 納期

令和8年1月30日(金)

(2) その他（自由提案）

企画提案参加者は、上記(1)によらず、本業務の目的の達成に資する取組の企画・運営・管理について、予算の範囲内で提案することを妨げない。

6 留意事項

- (1) 事業が完了した時は、速やかに事業完了報告書（別途様式を指定）を作成し、関係書類（別途指示する。）を添えて県へ提出すること。
- (2) 受託者は、委託業務を誠実に遂行するものとし、本業務の準備あるいは実施に際して、随時、県と協議すること。
- (3) 契約に際しては、企画提案の内容及びその後の協議に応じて、仕様を変更することがあること。

7 契約に関する条件等

(1) 再委託等の制限

ア 受託者は、本業務の全部又は本業務の企画若しくは運営等を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。

イ 受託者は、上記アに該当しない限りにおいて本業務の一部を第三者に委託することができる。この場合、事前に、再委託の内容、再委託先（商号又は名称）、その他再委託先に対する管理方法等、必要事項を県に対して文書で報告しなければならない。

(2) 業務履行に係る関係人に関する措置要求

ア 県は、本業務の履行につき、著しく不相当と認められるときは、受託者に対し、その理由を明示した書面により、必要な措置をとるべきことを請求することができる。

イ 県は、上記（1）イにより、受託者から委託を受けた者で本業務の履行につき著しく不相当と認められる場合は、受託者に対して必要な措置をとるべきことを請求することができる。

ウ 受託者は、上記の請求があったときは、当該請求に係る事項について必要な措置を講じ、その結果の請求を受けた日から10日以内に、県に対して通知しなければならない。

(3) 権利の帰属等

本業務の実施により制作された成果物及び資料又はその利用に関する著作権、所有権等は、原則として委託料の支払いの完了をもって受託者から県に移転することとするが、その詳細については、県及び受託者間で協議の上、別途契約書により定める。

(4) 機密の保持

受託者は、本業務を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、目的外の利用、第三者に開示、漏えいしてはならない。契約終了後もまた同様である。

(5) 個人情報の保護

受託者は、本業務を履行する上で個人情報を取り扱う場合は、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）及び個人情報の保護等に関する条例（令和4年12月22日岩手県条例第49号）を遵守しなければならない。

平泉に関する多言語解説文の制作

1 対象

- (1) 柳之御所遺跡現地解説板 10箇所分
 - ・ 1箇所あたり日本語500字(英語250ワード)程度、全体で日本語5,000字(英語2,500ワード)程度を予定。
- (2) 「平泉の文化遺産WEBサイト (<https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/>)」に掲載する解説文
 - ・ 全体で日本語8,000字(英語4,000ワード)程度を予定。

2 整備箇所等

- (1) 現時点での解説文整備対象及び日本語文字数は、別添「整備対象物リスト」のとおり。なお、整備対象及び想定ワード数は、本業務内で適宜調整し、必要に応じて変更契約を実施すること。
- (2) 上記(1)の日本語解説文を参考とし、多言語解説文を制作すること。

3 対応言語

英語、繁体字、簡体字及びタイ語

4 成果品の納品

- (1) 納品場所
岩手県文化スポーツ部文化振興課
- (2) 納品方法
制作した多言語解説文のWord形式ファイルをBlu-rayディスク等に保存し、郵送又は持参により納品

5 留意事項

- (1) 多言語解説文の制作にあたっては、「How to 多言語解説文整備(観光庁ガイドライン)」及び「地域観光資源の英語解説文作成のためのライティング・スタイルマニュアル(観光庁)」に準拠すること。
- (2) 英語版解説文制作にあたっては、観光庁ガイドラインを踏まえ、以下の事項を必須とする。
 - ア 現地取材・情報収集
受託者は、県と協議の上、適切な時期に解説文整備対象施設等へ現地取材を実施する。現地取材はライター等が行い、外国人目線に基づき執筆に必要な情報収集を行う。なお、現地取材には原則県文化振興課職員が同行し、対象施設や取材対象者等との調整を行う。
 - イ 整備対象物と執筆方針の決定
受託者は、現地取材時に得られた情報に基づき提案を行い、県と協議の上、解説文整備対象及び執筆方針(想定ワード数、執筆の方向性等)を決定する。
 - ウ 地域確認・修正
受託者は、県及び県の指定した内容監修者が実施する事実確認のために、上記イに基づき執筆した原稿を県及び内容監修者に提出し、県及び内容監修者の指摘に事項に対して、協議の上、適宜修正を行う。
- (3) 英語以外の解説文の作成は、上記イにより作成した英語解説文をもとに、各対象言語に翻訳するとともに、納品前に各言語を母国語とする者による確認(ネイティブチェック)を行うこと。
- (4) 制作には、直近5か年の「地域観光資源の英語解説文作成のための専門人材」に登録のある専門人材を起用し、観光や日本文化・歴史に精通した英語を母語としたライター、エディター及びプルーフリーダーを揃える体制であることが望ましい。
- (5) 本業務に係る諸経費は、県職員の人件費及び旅費を除き、原則として本業務費用に含まれる。

以上に掲げる業務のほか、本業務の実施に関し必要な業務を行うこと。

■整備対象物リスト

いわて平泉歴史文化観光推進事業（平泉多言語解説文整備業務）

No.	施設名	施設内スポット名	参考写真等	既存解説文有無	解説文の内容	文字数	備考
1	柳之御所史跡公園	史跡公園案内		英語のみあり	柳之御所史跡公園 開園時間 9:00～17:00（11月～3月は16:30まで） 入園無料 【史跡公園の紹介施設】 県立平泉世界遺産ガイダンスセンター・柳之御所資料館 TEL 0191-34-7377/0191-46-2030	114	参考 （解説文ではないため本業務の対象外）
2	柳之御所史跡公園	柳之御所遺跡全体解説①		英語、繁体字、韓国語	HIRAIZUMI 柳之御所遺跡 この遺跡は、平安時代末（12世紀）の居館跡で、歴史書『吾妻鏡』に記載される「平泉館」に否定され、奥州藤原氏の政務の場と考えられている。南西側の低地は猫間が淵と呼ばれている。 継続的な発掘調査によって、堀・園池・掘立柱建物・便所などの遺構、京都や海外との交流を示す土器や陶磁器などの遺物が多数発見されている。 わが国の北方領域に展開した政治・行政上の拠点を示す遺存状態の良好な遺跡として、平泉の文化遺産の中でもとくに重要である。 指定名称：史跡 柳之御所・平泉遺跡群 指定年月日：平成9年3月5日（追加指定：平成16年9月30日ほか）	285	業務仕様書別紙1(1) ※No.23まで同じ
3	柳之御所史跡公園	厩		英語のみあり	厩 中心建物に付属する建物のひとつです。この建物は、柱を地面に直接立てる掘立柱建物ですが、中心建物に比べて柱の並び方に統一性がなく、また、建物の構造からも、馬をつなげておく厩と考えられています。	96	
4	柳之御所史跡公園	付属建物		英語のみあり	付属建物 中心建物を補助した役割を持つと考えられる建物が、付属建物です。これらは、儀式の際に食事の準備をする厨や、同行した家来たちがつめている建物などにあたると想定しています。 ここでは、発掘によって明らかになった柱の位置と太さを示し、建物の内部と外側の広がりやを区別して表現しています。実際に出土した柱材の多くが栗材だったため、柱は栗材を用いて表示しました。付属建物は、中心建物に比べると柱の太さや間隔が小さいことから、小規模な建物だったことがわかります。	230	
5	柳之御所史跡公園	廊下状の建物		英語のみあり	廊下状の建物 この建物は、1間幅の間隔をもった列が続くことから、建物どうしをつなぐ廊下に似た建物であったと考えられます。廊下によってつながっていた、建物群があったのかもしれない。	91	
6	柳之御所史跡公園	中心建物		英語のみあり	中心建物 遺跡内のこの周辺は、大型の建物が集中しています。これらの建物は規模が大きいことや、池が広場に面していることから、平泉館の中心的な施設と考えられます。西の建物は東西約11m、南北約14mの大きさで、広い底をもち、特に格式の高い建物と推定されます。東の建物は、南北の長さが25mもある長大な建物跡です。この2棟の建物と池、広場などを含めた一帯が、儀式に使用された空間と考えられます。	195	
7	柳之御所史跡公園	竪穴建物		英語のみあり	竪穴建物 この建物は、東西が7m、南北が8mの竪穴の床面に柱を立てている構造で、北側と東側には張り出しがあります。かわらけが大量に折り重なって出土していることや、中心建物に近いことから、儀式的道具を納めていた倉庫とも想定される建物です。	119	
8	柳之御所史跡公園	大型の建物		英語のみあり	大型の建物 東西が20m、南北が18mもある大型の建物です。平泉で見つかった当時の建物の中で、最も広い面積を持ちます。建物の内側にも柱の列がある、総柱の構造をもつ建物と考えられます。 この建物は中心建物とは異なる時期のため、表示方法を変えています。	127	
9	柳之御所史跡公園	園池		英語のみあり	園池 金鶏山を向こうに、中心建物や庭に面して池が見つかりました。池は新旧2時期（1・2期）あり、新しい方の池を復元しています。導水路が見つかっておらず、池の水は湧水や雨水などを利用したと考えられます。復元した池は、発掘された池に盛土をして再現したもので、範囲を推定した部分は石の敷き方を変えて表しています。	154	
10	柳之御所史跡公園	井戸		英語のみあり	井戸 平成21年（2009）までに、64基の井戸跡が見つっています。中には、深さが5mをこえるものもありました。井戸からは、木製品の他に、陶磁器や印章など、貴重な遺物も出土しています。	94	
11	柳之御所史跡公園	塀		英語のみあり	塀 柳之御所遺跡には、建物や園地などの空間を区画する塀がいくつかあります。四方を区画するものは見つかっていません。板塀が多いですが、中には角材を隙間なく並べた塀もあり、いくつかの種類があることがわかっています。	106	
12	柳之御所史跡公園	汚物廃棄穴		英語のみあり	汚物廃棄穴 ウリ科種子や寄生虫卵、トイレットペーパーにあたる「ちゅう木」が多量に見つかった穴を、汚物廃棄穴と呼んでいます。これは、容器を使い排泄した後、ふん尿を一時的に取りまとめた穴と推定されます。	101	

No.	施設名	施設内スポット名	参考写真等	既存解説文有無	解説文の内容	文字数	備考
13	柳之御所史跡公園	高床建物		英語のみあり	倉庫風の建物 柱の配置から、高床構造と推定できる建物で、倉庫の跡と考えられます。同様の建物は親自在王院跡の南側でも見つかっており、『吾妻鏡』に記載される「高屋」と想定されます。 この建物は中心建物とは異なる時期のため、表示方法を変えています。	122	
14	柳之御所史跡公園	堀①		英語のみあり	政庁（居館）を囲む堀 奥州藤原氏の政庁（居館）＝平泉館にあたる柳之御所遺跡は、北上川と大きな堀によって囲まれ、周囲から区切られていました。12世紀後半に最初の堀が埋められた後、内側により巨大な堀（およそ幅14m、深さ4m）が作り替えられています。 堀からかわらけや木製品、橋の部材等多くの遺物が出土しています。	155	
15	柳之御所史跡公園	無量光院への道		英語のみあり	無量光院への道 無量光院は、藤原秀衡によって12世紀末に建立された寺院で、低地である猫間が淵遺跡をはさんで、柳之御所遺跡の西側に接しています。現在でも、無量光院跡の方向から、柳之御所遺跡に向かって通路状の高まりが確認できます。また、この高まりにつながる低地からは、発掘調査によって、柱上の施設が見つかっています。これらのことから、当時は、平泉館と無量光院を結ぶ道路があったと考えられています。政治の拠点である平泉館と寺院である無量光院が、密接に関係しながら機能していたことが明らかになっています。	249	
16	柳之御所史跡公園	廃棄穴①		英語のみあり	廃棄穴（井戸）① 井戸として使用しなくなった後に、不要となったものを捨てた穴です。これらの穴からは、たくさんの種類の遺物が大量に出土し、当時の様子を知る手掛かりになっています。この井戸跡は、深さが約3.5mあり、建物の部材がまとめて廃棄されていました。 この井戸跡では実際には井戸枠は見つかっていませんが、遺跡内からは井戸枠をもったものも見つかっています。	179	
17	柳之御所史跡公園	廃棄穴②		英語のみあり	廃棄穴（井戸）② 井戸として使用しなくなった後に不要となったものを捨てた穴です。この穴には、宴会儀礼などで使用された大量の土器（「かわらけ」）がまとめて廃棄されていました。	87	
18	柳之御所史跡公園	汚物廃棄穴群		英語のみあり	汚物廃棄穴群 この周囲には、ふん尿などを捨てたと考えられる汚物廃棄穴が40基ほど、集中して見つかっています。これらは中心建物付近の汚物廃棄穴から汚物を選び、最終的に廃棄した穴と想定されます。	96	
19	柳之御所史跡公園	柳之御所遺跡全体解説②		英語、繁体字、韓国語	HIRAIZUMI② 柳之御所遺跡 柳之御所遺跡は、北上川のほとりに作られた平安時代末（12世紀）の居館跡です。一関遊水地事業に伴って1988年から始まった発掘調査によって、堀跡に囲まれた区域から園地後やたくさんの掘立柱建物が見つかったほか、儀式の際に使われた土器（かわらけ）や国産陶器、輸入陶磁器などの奥州藤原氏の権力を示す遺物が多く出土しました。それにより、歴史書『吾妻鏡』のなかで奥州藤原氏が政治を行った場所とされる、「平泉館」に推定されています。こうした遺跡の重要性から、史跡に指定され保護が図られています。 指定名称：史跡 柳之御所・平泉遺跡群 指定年月日：平成9年3月5日（追加指定：平成16年9月30日ほか）	312	
20	柳之御所史跡公園	堀②		英語のみあり	堀 大規模な堀で区画されたすがたは柳之御所遺跡の大きな特徴です。内と外の平行する2本の水のない空堀が見つかっています。2本の堀は時期が異なり、併存していたわけではありません。遺跡の南側では内側の堀が新しく、三代秀衡の頃はこの堀に囲まれていたと考え、一部を復元しました。堀は延長500mもあり、全体像の解明はこれからです。 内側の堀は最大で幅14m、深さ4mもあります。堀には橋がかけられ、遺跡の外の道とつながっていました。	213	
21	柳之御所史跡公園	橋		英語のみあり	橋 堀には橋がかけられていました。この地点を含めて、現在までに3か所が確認されています。この他にも無量光院へと結ぶ地点など、橋の存在が予想される場所もあります。堀からは橋の部材と考えられる角材が出土しています。	106	
22	柳之御所史跡公園	道路跡		英語のみあり	道路跡 平行した2本の溝跡を、道路の側溝と考えました。幅は10～12mほどで、遺跡の南側では全長50m以上にわたり見つかっています。また、この道路の南端には堀にかかる橋があり、その線を延長すると、町内で発掘されている道路とつながると考えられます。	124	
23	柳之御所史跡公園	伽羅御所への道		英語のみあり	伽羅御所跡への道 柳之御所遺跡（平泉館）の南側には、低地である猫間が淵遺跡をはさんで、伽羅御所跡が接しています。この遺跡は歴史書『吾妻鏡』の中で、藤原秀衡の日常の居所として記述されている「伽羅御所」の推定地となっています。 2つの遺跡は堀や低地によって区画されていますが、この場所では堀をまたぐ橋跡が見つかっています。秀衡の時代には、政治の場である平泉館と、生活の場である伽羅御所とを、橋や道路で結んでいたと考えられます。	213	

No.	施設名	施設内スポット名	参考写真等	既存解説文有無	解説文の内容	文字数	備考
24-1	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	https://www.sekaisan.pref.iwate.jp/know/wh/eritage	なし（自動翻訳のみ）	世界遺産とは それは、現代を生きる世界すべての人々が共有し、未来の世代に引き継いでいくべき人類共通の"たからもの" 1972年、ユネスコ総会で「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」が採択されました。「世界遺産」とは、この条約に基づき、全世界の人々の共有財産として国際的に保護・保全していくことが義務づけられている「遺跡」や「建造物」、「自然」などのことです。 「世界遺産」として登録するには、ユネスコ「世界遺産委員会」において資産の内容が他に類例のない固有のものであり、国際的に決められた判定基準に照らして「顕著で普遍的な価値」があると認められなければなりません。また、その価値にふさわしい、有効な保存管理が手厚くなされていることも、必要条件となっています。	338	業務仕様書別紙1(2) ※以下同じ
24-2	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	世界遺産の分類 世界遺産は「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」に分類されます。 2019年7月現在 1121件（文化遺産869件、自然遺産213件、複合遺産39件）	82	
24-3	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	平泉の世界遺産 世界遺産「平泉」の構成資産の中には、国宝「中尊寺金色堂」や特別名勝「毛越寺庭園」のほか、特別史跡「中尊寺境内」、特別史跡「毛越寺境内附鎮守社跡」、特別史跡「無量光院跡」等があります。また、史跡「柳之御所・平泉遺跡群」を構成する柳之御所遺跡、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡や、史跡「達谷窟」及び重要文化財に指定されている骨寺村荘園遺跡の関連資産も世界遺産拡張登録を目指し、文化庁、県、関係市町では、各種事業を推進しています。	218	
24-4	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	推薦資産の概要 「世界遺産 平泉」のしおり ※「平泉」や「世界遺産」に関する豆知識を掲載しています。（印刷はA3版で） 「世界遺産 平泉」のしおり（折本版） ※上と内容は同じですが、周辺余白を切り落とし、中央太線部に切り込みを入れて折りたたむと冊子の形になるようページを配置したものです。	144	
24-5	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	世界遺産 平泉 「平泉の文化遺産」は、2011（平成23）年6月、フランスのバリで開催された第35回世界遺産委員会において、世界遺産リストに記載（＝世界遺産登録）することが決定されました。 資産名：平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群— 構成資産：中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、無量光院跡、金鶏山	162	
24-6	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	1 「平泉」がなぜ世界遺産なのか 平泉には、仏教の中でも、特に浄土思想の考え方に基づいて造られた多様な寺院・庭園が、一群として良く残っています。 寺院や庭園は、この世に理想世界を創り出そうとしたもので、海外からの影響を受けつつ日本で独自の発展を遂げたものです。 平泉の理想世界の表現は、他に例の無いものとされています。	159	
24-7	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	2 世界遺産に登録されるためには：顕著な普遍的価値 世界遺産として登録されるためには、資産に「顕著な普遍的価値」があることが必要とされます。 その証明のためには、世界遺産委員会が示す10の価値基準のうち最低1つに該当すること 真実性・完全性を満たすこと 有効な保存管理体制が整備されていること、を示す必要があります。	160	
24-8	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	3 「世界遺産 平泉」の価値 平泉は、10の価値基準のうち、iiとviについて認められました。	47	
24-9	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	平泉に見る思想・文化の交流 基準ii：建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値観の交流またはある文化圏内での価値観の交流を表すものである。 平泉の庭園及び寺院は、仏教が中国・朝鮮半島を経由して日本に伝播し、在来の自然崇拜思想と融合して独特の発展を遂げ、それが作庭技術や仏堂建築に反映されて生み出されたものです。 独特の性質を持つものとなった日本の仏教、中でも極楽浄土信仰を中心とする浄土思想は、様々な阿彌陀堂建築や、独特の浄土庭園を確立させる原動力となりました。 平泉の寺院や浄土庭園群は、独特の意匠・設計に基づき、現世における仏国土（浄土）がさまざまな形で表現されたもので、それらが、狭い範囲に視覚的に結びつきながら存在し、鎌倉などの寺院や庭園に影響を与えました。	358	

No.	施設名	施設内スポット名	参考写真等	既存解説文有無	解説文の内容	文字数	備考
24-10	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	<p>顕著な普遍的意義を持つ浄土思想の反映</p> <p>基準vi：顕著な普遍的意義を有する出来事（行事）、生きた伝統、思想、信仰、芸術作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある。</p> <p>平泉の寺院・庭園の造営に重要な意義を持った浄土思想は今日平泉で行われている宗教儀礼や民俗芸能などに確実に継承されています。</p> <p>中尊寺の境内では、浄土思想と直接的な関わりを持つ民俗芸能である「川西大念仏剣舞」が今なお上演されています。</p> <p>また、毛越寺の常行堂では、毎年正月20日に常行三昧の修法が行われた後、参集した人々の無病息災・長寿を祈願して「延年の舞」が奉納されています。</p> <p>こうした浄土思想を反映した無形の諸要素が今なお伝えられていることは、顕著な普遍的意義を有する浄土思想が、平泉の資産と密接に関係し、現在にも確実に継承されていることを示しています。</p>	362	
24-11	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	<p>平泉文化遺産の評価</p> <p>平泉は、12世紀日本の本州北部において、仏教に基づく理想世界の実現を目指して造営された政治・行政上の拠点です。</p> <p>仏堂・浄土庭園をはじめとする構成資産は、6世紀から12世紀の間に中国大陸から日本列島の最東端へと伝わる過程で日本に固有の自然崇拝思想とも融合しつつ独特の性質を持つものへと展開を遂げた仏教、その中でも特に末法の世が近づくにつれ興隆した阿彌陀如来の極楽浄土信仰を中心とする浄土思想に基づき、現世における仏国土（浄土）の空間的な表現を目的として創造された独特の事例である、と評価されています。</p> <p>それは、浄土思想を含む仏教の伝来・普及に伴い、寺院における建築・庭園の発展に重要な影響を与えた価値観の交流を示しており、地上に残っているものだけでなく、地下に残る遺跡も含め、建築・庭園の分野における人類の歴史の重要な段階を示す傑出した類型です。</p> <p>さらに、そのような建築・庭園を創造する源泉となり、現世と来世に基づく死生観を育んだ浄土思想は、今日における平泉の宗教儀礼や民俗芸能にも確実に継承されています。</p>	465	
24-12	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	<p>平泉と仏国土(浄土)</p> <p>推薦書では仏国土（浄土）に関して次のように説明しています。</p> <p>仏国土とは、仏の国又は仏の世界のことであり、菩薩の誓願と修行によって建てられた国をも指すものです。浄土は、通常、阿彌陀如来の極楽浄土のことを指すと考えられやすいですが、東アジアの仏教においては、絶対永遠の仏の悟りの世界、高位や下位の菩薩の世界、凡夫と聖人とが同居する世界などが一体として存在し、そのすべてを浄らかな仏国土（浄土）とすることができると捉えられました。</p> <p>特に、6世紀から12世紀にかけて発展を遂げた日本独特の仏教では、現世に究極の仏の理想世界である仏国土（浄土）を実現できると理解されました。</p> <p>平泉の建築・庭園及び考古学的遺跡群は、日本の自然崇拝思想とも融合しつつ独特の性質を持つものへと展開を遂げた仏教、その中でも特に末法の世が近づくにつれて興隆した阿彌陀如来の極楽浄土信仰を中心とする浄土思想に基づき、現世における仏国土（浄土）の表現を目的として創造されました。</p>	433	
24-13	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	<p>ユネスコの精神と浄土思想</p> <p>奥州藤原氏初代の清衡は、中尊寺の建立にあたり、「中尊寺供養願文」において次のように宣言しました。</p> <p>「古来、奥州では、官軍の兵、蝦夷の兵の区別なく、多くの者の命が失われてきた。毛を持つ獣、羽ばたく鳥、鱗を持つ魚もまた、数限りなく殺されてきた。命あるものたちの御霊は、今、あの世に消え去り、骨も朽ち、奥州の土塊となり果てたが、中尊寺のこの鐘を打ち鳴らすたびに、罪なく命を奪われた者たちの御霊を慰め、極楽浄土に導きたいと願う。」</p> <p>これに対し、ユネスコ憲章には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」との理念が高らかに謳い上げられています。憲章に示された平和希求の精神は、まさしく藤原清衡をはじめ、奥州藤原氏が現世に実現しようとした浄土世界及びその基調になった浄土思想と共通するものだといつてよいでしょう。</p> <p>世界遺産候補である「平泉の文化遺産」には、平和を求める普遍的な精神が深く息づいています。</p>	434	
24-14	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	<p>登録までの流れ</p> <p>世界遺産暫定リストに掲載（平成13年4月）</p> <p>ユネスコ世界遺産センターへ推薦書提出（平成22年2月1日まで）</p> <p>イコモスによる現地調査（平成22年9月）</p> <p>世界遺産委員会で登録決定（平成23年6月26日）</p> <p>平成23年登録資産</p>	117	

No.	施設名	施設内スポット名	参考写真等	既存解説文有無	解説文の内容	文字数	備考
24-15	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	平成23年に登録された「平泉の文化遺産」は、次の資産となります。 中尊寺 中尊寺金色堂（国宝・重要文化財）、金色堂覆堂（重要文化財）、中尊寺経蔵（重要文化財）、中尊寺境内（特別史跡） 毛越寺 毛越寺境内附鎮守社跡（特別史跡）、毛越寺庭園（特別名勝） 観自在王院跡 旧観自在王院庭園（名勝）、毛越寺境内附鎮守社跡（特別史跡） 無量光院跡 無量光院跡（特別史跡） 金鶏山 金鶏山（史跡）	191	
24-16	平泉の文化遺産WEBサイト	世界遺産の概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	平泉の文化遺産を未来へ 世界遺産の目的は、地域の大切な宝物を人類共通の宝物として次の世代へ引き継いでいくことにあります。 「平泉の文化遺産」を構成する資産の保護はもちろんのこと、浄土思想を背景として周囲の自然環境と一体となって形成された景観を確実に保全するとともに、持続可能な取組みを進めるうえで、地域振興への活用も重要になります。 「平泉の文化遺産」を未来に引き継ぐために、各資産と周囲の景観を一体的に保全することを目的とした包括的保存管理計画を策定するとともに、保存と活用に関するアクションプランを策定し、取組みを進めています。	268	
25-1	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の歴史・概要	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/history-summary	なし（自動翻訳のみ）	平泉の歴史 平泉のはじまり 統治範囲図 （平泉略年表、安倍・清原・藤原氏関係系図） 11世紀末、奥州藤原氏初代清衡は、岩手県南部の江刺から平泉へと本拠を移しました。その理由としては、平泉が水陸交通の要衝地であったこと、さまざまな植物が混在する南北自然の交差点であったことなどが考えられています。さらに、近年判明したことで、北上川東岸地域に大穀倉地帯が広がっていたことも要因の一つではないかとされています。 平泉に来た清衡は、はじめに塔を建てたとされています。これが関山中尊寺の始まりです。この塔の建立は、清衡の楽土建設の意思表示であり、また、平泉が東北地方の中心であることを示すものでもありました。 事実、清衡の統治範囲は、南は福島県白河関、北は青森県外が濱に及ぶものでしたが、白河関が北緯37度、外が濱が41度であるのに対し、中尊寺は北緯39度と、文字通り東北地方の中心に位置していました。	401	
25-2	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の歴史・概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	奥州藤原氏の繁栄 奥州藤原氏は、ムカデ退治で有名な倭藤太こと藤原秀郷の子孫といわれています。清衡の父である経清は、巨理権大夫と呼ばれていたことから、宮城県南部を本拠とした豪族だったと考えられています。 11世紀中ごろ、東北地方の豪族安倍氏と朝廷との間に前九年合戦が生じると、経清は安倍氏に荷担しました。そのため、安倍氏の敗北とともに、経清も処刑されることとなりました。このとき、清衡も父と同様に処刑されるはずでしたが、母が、敵方であった清原氏に再嫁したことから、合戦後も生き延びることとなりました。 その後、清衡は清原家の相続争いである後三年合戦に巻き込まれることとなります。この戦いで、清衡は唯一生き残ることとなりますが、その過程は、異父弟に妻子を殺害されるなど、肉親相食も悲惨なものでした。 非戦の決意から、清衡は平泉に中尊寺を建立しました。1124年に金色堂、1126年には主要な堂塔が完成したことから、大法要を営み、戦争のない理想郷を造りたいという趣旨の願文（中尊寺建立供養願文）を読み上げたと伝えられています。その2年後、清衡は眠るように入滅し、遺体のまま金色堂内に葬られました。 二代基衡は、父の遺志を継ぎ、毛越寺の造営を開始しました。毛越寺周辺を京都の鳥羽・白河のようにすることが目的だったとされています。本尊の作成に対する謝礼の記録からうかがい知るに、基衡の代には既にかなりの財力を持っていました。しかし、山を切り拓き池を掘り、全面に玉石を敷き詰め伽藍を造る作業は困難を極めたようです。1157年、ついに「吾朝無双」と称された金堂円隆寺は完成しました。	794	
25-3	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の歴史・概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	平泉の特徴 平泉の威容は歴代当主によって整えられていきました。初代清衡が建てた中尊寺では塔と高さが15mもある二階大堂が周囲に威を放ち、二代基衡と三代秀衡に亘り築かれた毛越寺では幅30mにも及ぶ大路と整然と交差する道路、建ち並ぶ宝物庫や行き交う牛車が見るものを圧倒しました。のみならず、藤原氏の理想郷建設は周辺部にも及び、周辺の山々に経塚を造り、植林を施しました。東の束稲山には、奈良の吉野山に勝るとも劣らない桜の景観があったと伝えられています。 初代清衡以来受け継がれた平泉の理念は、仏教による平和社会の構築です。その究極の姿は無量光院に見ることが出来ます。无量光院の本堂は極楽の宮殿を、庭園は極楽世界そのものを表現したものでした。 これらを実現可能にした背景には、膨大な量の産金と南北交易による大きな利益がありました。この潤沢な財力を惜しみなく使うことにより、平泉は成り立っていたのです。	399	

No.	施設名	施設内スポット名	参考写真等	既存解説文有無	解説文の内容	文字数	備考
25-4	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の歴史・概要	〃	なし（自動翻訳のみ）	<p>落日、そして現代へ</p> <p>1187年、秀衡が没しました。臨終にあたり秀衡は「源義経を大将とし、息子たちの力を合わせて源頼朝と戦いなさい」と遺言したといわれています。しかしこの遺言は、実行に移されることはありませんでした。</p> <p>1189年4月、四代泰衡は、頼朝の圧力に屈し、義経を自害に追い込んでいます。さらには6月には、義経と懇意だった弟である忠衡をも殺害しました。これらの状況を見て頼朝は、鎌倉を築きました。鎌倉の大軍は、8月には平泉に到達し、そして、その翌月に奥州藤原氏は滅亡しました。</p> <p>平泉は、藤原氏という庇護者を失ったことから、少しずつ衰退していきました。1226年の毛越寺の円隆寺、1337年の中尊寺主要堂塔と徐々に焼失し、1600年ごろにはおおそ現在の状態になっていたようです。往時の建物の多くは灰になり遺跡化しました。また庭園などは、田地となっています。しかし平泉の人々は、誇りを持ち続け、遺跡を良好な状態で現在まで守ってきました。さらに、舞などの芸能もよく伝えられています。「平泉の文化遺産」は、過去の栄華の痕跡だけではなく、現代にも息づいているものなのです。</p>	483	
26	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>中尊寺	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/che ritage/chusonji	なし（自動翻訳のみ）	<p>中尊寺境内【特別史跡】（平泉町）</p> <p>中尊寺は嘉祥3年（850）慈覚大師の創建と伝えられます。その250年ほど後、藤原清衡が江刺豊田館より本拠を平泉に移し、多くの堂塔の造営に着手しました。最初院とも号した多宝寺や大長寿院など、清衡は次々に大伽藍を完成させていき、天治元年（1124）金色堂が完成しました。室内は、螺鈿や蒔絵・透かし彫りの金具で荘厳され、平安時代後期の工芸技術の粋を現代に伝えていきます。</p>	199	
27	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>毛越寺	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/che ritage/motsuji	なし（自動翻訳のみ）	<p>毛越寺境内附鎮守社跡【特別史跡】</p> <p>毛越寺庭園【特別名勝】（平泉町）</p> <p>「日本有数の浄土庭園」として、その文化価値を国から二重に指定されている毛越寺は、中尊寺と同じく嘉祥3年（850）慈覚大師の創建と伝えられます。二代基衡が造営に着手、三代秀衡の時代にすべての堂塔が完成しました。往時には堂塔40、禅房500の規模を誇り、金堂円隆寺は「吾朝無双」と評されました。池は大泉が池と呼ばれており、平安時代の優美な作庭造園の形状を今に留め、安寧を与えてくれます。</p>	226	
28	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>金鶏山	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/che ritage/kinkeisan	なし（自動翻訳のみ）	<p>金鶏山【史跡】（平泉町）</p> <p>中尊寺と毛越寺のほぼ中間に位置し、平泉を守るため雌雄一対の黄金の鶏を埋めたという伝説が残っています。歴代の奥州藤原氏が山頂に経塚を築いた信仰の山で、平泉のまちづくりの基準となりました。松尾芭蕉も平泉を訪れた際、「金鶏山のみ形をこのす」とこの山の印象を記しています。また、登り口付近には、義経妻子の墓と伝えられる五輪塔があります。</p>	178	
29	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>無量光院跡	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/che ritage/muryokoin	なし（自動翻訳のみ）	<p>無量光院跡【特別史跡】（平泉町）</p> <p>藤原秀衡が、宇治平等院の鳳凰堂にならぬ建立した寺院跡です。遺跡のほとんどが水田化し、池跡、中島、礎石のみが残っています。南北に長い伽藍の中心線は、東門・中島・本堂を貫いて、その先の金鶏山と直線で結ばれます。春と秋の年2回、その稜線上には、夕刻になると日輪が下がり、一日のうちで最も荘厳な落日の瞬間が現れます。平等院の景観とは異なった、極楽浄土を体感できるような計算し設計された空間です。世界遺産登録をうけて、史跡の発掘調査および周辺の整備などが行われ、一帯の景観保全が進められています。</p>	260	
30	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>親自在王院跡	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/che ritage/kanjizaioinato	なし（自動翻訳のみ）	<p>毛越寺境内附鎮守社跡【特別史跡】</p> <p>旧親自在王院庭園【名勝】（平泉町）</p> <p>毛越寺に隣接する庭園で、藤原基衡夫人が建立したと伝えられます。舞鶴が池を中心に荒磯風の石組み、洲浜、中島、池の北岸には大阿弥陀堂跡、小阿弥陀堂跡があります。現在は、復元整備が行われて史跡公園として憩いの広場になっています。</p>	147	
31	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>柳之御所遺跡	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/che ritage/yanagigosyo	なし（自動翻訳のみ）	<p>柳之御所遺跡【史跡】（平泉町）</p> <p>高館の麓から北上川沿いに段丘が広がるこの一帯は、古来、藤原清衡・基衡の屋敷跡と伝えられてきました。昭和63年（1988）にスタートした一閑遊水地事業に伴う緊急発掘調査は6年間に及び、その後行われた調査と併せ、遺跡の内容が次第に明らかにされてきています。12世紀の平泉遺跡群の中でもずば抜けた質と量の遺構、遺物の発見が相次いだことから、遺跡は、『吾妻鏡』に見える平泉館（政庁）に該当する可能性が高いと評価されています。</p> <p>緊急調査が進むにつれて遺跡の保存を求める声が大きくなり国土交通省の大英断を受け、平成9年に国史跡に指定され、保存されることになりました。現在は、学術調査を基にした復元整備が行われ、史跡公園として公開されています。</p>	333	
32	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>達谷窟	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/che ritage/takkoku	なし（自動翻訳のみ）	<p>達谷窟【史跡】（平泉町）</p> <p>延暦20年（801）坂上田村麻呂が蝦夷討伐の戦勝記念と仏の加護への感謝を込めて造営したと伝えられています。京都の鞍馬寺から毘沙門天を勧請し、百八体の毘沙門天を祀ったといわれます。当時、達谷窟には悪路王という蝦夷の首領が住んでおり、田村麻呂に征伐されたという伝説が残っています。この伝説は田村物語として中世文学に大きな影響を与えました。源頼朝も、鎌倉への帰路、参拝しています。</p>	201	

No.	施設名	施設内スポット名	参考写真等	既存解説文有無	解説文の内容	文字数	備考
33	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>白鳥館遺跡	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/heritage/shirotoritata	なし（自動翻訳のみ）	白鳥館遺跡〔史跡〕（奥州市） 平泉前沢ICから「牛の博物館」方向に向かうと前方に丘が見えてきます。その一帯が安倍頼時の八男・白鳥八郎則任の居城と伝えられている白鳥館遺跡です。遺跡には、堀や曲輪の跡が残り、中世城館の姿をほぼ原形に近い形で見る事が出来ます。北上川に周囲を180度以上囲まれる天然の要害であり、10世紀から16世紀まで北上川交通の要衝地として利用されてきました。雄大な北上川に守られる景観は、まさに絶景です。	212	
34	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>長者ヶ原廃寺跡	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/heritage/chojagahara	なし（自動翻訳のみ）	長者ヶ原廃寺跡〔史跡〕（奥州市） 中尊寺から北にわずか1キロの距離に位置します。昭和33年（1958）の発掘調査で、寺院風の壮大な建物跡が確認されました。出土した土器などから推定して、平泉前史の重要な寺院跡と考えられています。一辺約100mの土塁又は築地堀に囲まれた遺跡であり、中軸線上に建物と門を配するなど非常に古代的な様相もっています。中尊寺はまだ建立されていませんが、南の関山丘陵を意識してこの地が選ばれたのかも知れません。	216	
35	平泉の文化遺産WEBサイト	平泉の文化遺産の紹介>骨寺村荘園遺跡	https://www.sekaiisan.pref.iwate.jp/known/heritage/honederamura	なし（自動翻訳のみ）	骨寺村荘園遺跡〔史跡〕 一関本寺の農村景観〔重要文化的景観〕（一関市） この地が早くから注目を集めてきたのは、中尊寺に現存する陸奥国骨寺村絵図にほぼ近い形で、現在も中世社会の荘園の面影をとどめていることにあります。地図と景観が残っている荘園遺跡は、全国的にも貴重なものです。骨寺村は、中尊寺の僧である自在房蓮光が紺紙金銀字交書一切経完成に伴い、清衡から労をねぎらい与えられたものです。その事績により蓮光は経蔵別当に任ぜられました。以来室町時代まで経蔵別当として伝えられています。	241	

【参考】柳之御所史跡公園 現地解説板配置 ※おおよその位置を表示

